

ダニエル6章

主義に固く立つ・ダニエルに対する^{いんぼう}陰謀

2024、10月

ダニエル6:1-4

ダレイオスとダニエル

- 6:1 さて、王国を継いだのは、メディア人ダレイオスであった。彼は既に六十二歳であった。
- 6:2 ダレイオスは、王国に**百二十人の総督**を置いて全国を治めさせることにし、
- 6:3 また、王に損失がないようにするため、これらの**総督から報告を受ける大臣を三人、その上に置いた。ダニエルはそのひとりであった。**
-

大臣や総督の嫉妬心 優れた霊のために、口実を探せなかった。

- 6:4 けっしゅつダニエルには^{すぐれた}優れた霊が宿っていたので、他の大臣や総督のすべてに傑出していた。王は彼に王国全体を治めさせようとした。
- 6:5 大臣や総督は、^{せいむ}政務に関してダニエルを^{おとしいれよう}陥れようと^{こうじつ}口実を探した。しかし、ダニエルは政務に忠実で、^{おてん}何の汚点も^{たいまん}怠慢もなく、彼らは訴え出る口実を見つけることができなかった。

王を利用して、言いがかりを見出す。

- 6:6 それで彼らは、「**ダニエルを ^{おとしい} 陥れるには、その信じている神の法に関してなんらかの言いがかりをつけるほかはあるまい**」と話し合い、
- 6:7 王のもとに集まってこう言った。「**ダレイオス王様がとこしえまでも生き永らえられますように。**
- 6:8 **王国の大臣、^{しっせいかん} 執政官、^{そうとく} 総督、地方長官、^{そっきん} 側近ら一同相談いたしまして、王様に次のような、^{ちよくれい} 勅令による^{きんしじこう} 禁止事項をお定めいただくということになりました。すなわち、向こう三十日間、王様を差し置いて他の人間や神に願い事をする者は、だれであれ^{しし} 獅子の^{どうくつ} 洞窟に投げ込まれる、と。**
- 6:9 王様、どうぞこの^{きんれい} 禁令を出し、その書面に^{ごしよめい} 御署名ください。そうすれば、これはメディアとペルシアの法律として変更不可能なものとなり、^{はいし} 廃止することはできなくなります。」
- 6:10 **ダレイオス王は、その書面に署名して禁令を^{はっぷ} 発布した。**

優れた霊 大臣や総督の嫉妬心、告発されるダニエル

- 6:11 ダニエルは王が禁令に署名したことを知っていたが、家に帰るといつものとおり二階の部屋に上がり、エルサレムに向かって開かれた窓際にひざまずき、日に三度の祈りと賛美を自分の神にささげた。
- 6:12 役人たちはやって来て、ダニエルがその神に祈り求めているのを見届け、
- 6:13 王の前に進み出、禁令を引き合いに出してこう言った。「王様、向こう三十日間、王様を差し置いて他の人間や神に願い事をする者があれば、獅子の洞窟に投げ込まれるという勅令に署名をなされたのではございませんか。」王は答えた。「そのとおりだ。メディアとペルシアの法律は廃棄されることはない。」
- 6:14 彼らは王に言った。「王様、ユダヤからの捕囚の一人ダニエルは、あなたさまをも、署名なされたその禁令をも無視して、日に三度祈りをささげています。」

優れた霊

大臣や総督の嫉妬心、告発されるダニエル

- 6:15 王はこれを聞いてたいそう悩み、なんとかダニエルを助ける方法はないものかと心を砕き、救おうとして日の暮れるまで努力した。
- 6:16 役人たちは王のもとに来て言った。「王様、ご存じのとおり、メディアとペルシアの法律によれば、王による勅令や禁令は一切変更してはならないことになっております。」
- 6:17 それで王は命令を下し、ダニエルは獅子の洞窟に投げ込まれることになって引き出された。王は彼に言った。「お前がいつも拝んでいる神がお前を救ってくださるように。」
- 6:18 一つの石が洞窟の入り口に置かれ、王は自分の印と貴族たちの印で封をし、ダニエルに対する処置に変更がないようにした。

•

優れた霊

陰謀者への罰

- ・ 6:19 王は宮殿に帰ったが、その夜は食を断ち、側女も近寄らせず、眠れずに過ごし、
- ・ 6:20 夜が明けるやいなや、急いで獅子の洞窟へ行った。
- ・ 6:21 洞窟に近づくと、王は不安に満ちた声をあげて、ダニエルに呼びかけた。「ダニエル、ダニエル、生ける神の僕よ、お前がいつも拝んでいる神は、獅子からお前を救い出す力があったか。」
- ・ 6:22 ダニエルは王に答えた。「王様がとこしえまでも生き永らえられますように。」
- ・ 6:23 神様が天使を送って獅子の口を閉ざしてくださったので、わたしはなんの危害も受けませんでした。神様に対するわたしの無実が認められたのです。そして王様、あなたさまに対しても、背いたことはございません。」

優れた霊

陰謀者への罰、ダニエルの神の勝利

- 6:24 王はたいそう喜んで、ダニエルを洞窟から引き出すように命じた。ダニエルは引き出されたが、その身に何の害も受けていなかった。神を信頼していたからである。
- 6:25 王は命令を下して、ダニエルを陥れようとした者たちを引き出させ、妻子もろとも獅子の洞窟に投げ込ませた。穴の底にも達しないうちに、獅子は彼らに飛びかかり、骨までもかみ砕いた。
- 6:26 ダレイオス王は、全地に住む諸国、諸族、諸言語の人々に、次のように書き送った。「いっその繁栄を願って挨拶を送る。
- 6:27 わたしは以下のとおりに定める。この王国全域において、すべての民はダニエルの神を恐れかしこまなければならない。この神は生ける神、世々にいまし／その主権は滅びることなく、その支配は永遠。
- 6:28 この神は救い主、助け主。天にも地にも、不思議な御業を行い／ダニエルを獅子の力から救われた。」
- 6:29 こうしてダニエルは、ダレイオスとペルシアのキュロスの治世を通して活躍した。

質問

1. なぜ、役人たちは、ダニエルに嫉妬したのか。
2. 嫉妬はどこから来ますか。歴史上、最初に嫉妬したのは誰か。
3. なぜ神は、ダニエルを獅子の穴に入れられることを許されたのか。
4. ダニエルの話から、私たちは何を学びますか。

答え

1. なぜ、役人たちは、ダニエルに嫉妬したのか。6:1~4

- 6:2 ダレイオスは、王国に**百二十人の**^{そうとく}**総督**を置いて全国を治めさせることにし、
- 6:3 また、**王に損失がないようにするため**、これらの**総督から報告を受ける大臣を三人**、その上に置いた。**ダニエルはそのひとりであった。**
- 6:4 ダニエルには^{すぐれた}**優れた霊が宿っていたので**、他の大臣や**総督のすべてに傑出し**^{けっしゅつ}**ていた。**王は彼に王国全体を治めさせようとした。

ヒント：ダニエルの立場は何か。何人か。神は？

答え

2. 嫉妬はどこから来ますか。歴史上、最初に嫉妬したのは誰か。

ヒント：天で反抗したのは、誰ですか。

天で反逆したサタンです。

3. なぜ神は、ダニエルを獅子の穴に入れられることを許されたのか。

「神はダニエルの敵が、彼をししの穴に投げ入れることを阻止されなかった。神は悪天使と悪人たちが、ここで彼らの目的を達するのをお許しになった。しかしそれは、**神のしもべの救出をさらに著しいものにし、真理と義の敵の敗北を、さらに完璧なものにするためであった。**「**まことに人の怒りはあなたをほめたたえる**」と詩篇記者はあかしした（詩篇76：10）。御都合主義ではなくて、正義を行うことを選んだこの1人の人の勇気によって、サタンは敗北し、神のみ名は高められ、崇められるのであった」 国と指導者、589ページ。

「諸国の歴史と来たるべきでき事についての啓示において、**神のみこころがどのように達成されるかを研究することは、見えるものと見えないものの真の価値を評価し、人生の真の目的が何であるかを学ぶ助けとなる。**こうして、現世のでき事を永遠の光に照らしてみる時に、われわれはダニエルと彼の仲間たちのように、**真実で気高く、永続するもののために生きる**ことであろう。そしてわれわれは、われわれの主、**救い主の永遠に続く祝福された王国の原則を現世において学び、彼がおいでになる時には、彼とともにその国に入って、それを自分のものとする準備が整うのである**」（国と指導者、591p）。

アーメン！！

ダニエル6章

完。